



2025年6月2日

各 位

ENEOS Power 株式会社

ENEOS 株式会社

静岡県静岡市清水区における次世代型エネルギー供給プラットフォームの開所式を開催 ～新名称「ENEOS みらいコネクト」を発表～

ENEOS Power 株式会社と ENEOS 株式会社は、清水製油所跡地（清水油槽所内遊休地）内における次世代型エネルギー供給プラットフォーム（以下、「本事業」）の完成[※]に伴い、この度、開所式を執り行い、本事業の名称を「ENEOS みらいコネクト」と発表しましたので、お知らせいたします。

新名称「ENEOS みらいコネクト」は、エネルギーの安定供給および再生可能エネルギー由来電力と水素の地産地消を通じて、ENEOS グループと地域社会が“つながる”ことで、社会の発展と活力ある未来づくりにつなげていく、その想いを表現したものです。

開所式では、新名称の発表、再生可能エネルギー由来のグリーン水素を FC バスへ充填するセレモニーを実施しました。また、ご来賓の方々には、FC バスへの乗車・走行体験とともに、一連の施設内設備をご覧いただきました。

ENEOS グループは、長期ビジョンに掲げる「エネルギーと素材の安定供給」と「カーボンニュートラル社会の実現」との両立に向け、挑戦を続けています。今後も本事業等を通じて地域の再生可能エネルギー由来電力および水素の利活用促進に取り組み、社会の発展と活力ある未来づくりに貢献してまいります。

※ 2025年3月26日公表

[「ENEOS の清水製油所跡地に次世代型エネルギー供給プラットフォーム完成」](#)

2025年3月26日公表

[「ENEOS 清水製油所跡地に誕生する次世代型エネルギー供給プラットフォームに「静岡清水水素ステーション」がオープン！」](#)

【開所式の様子】

<集合写真>



- | | |
|----------|---------------------------------------|
| 左から 1 人目 | 東邦ガスエネルギーエンジニアリング株式会社 取締役社長 玉田 勝也 様 |
| 同 2 人目 | 日本水素ステーションネットワーク合同会社 社長 森 裕貴 様 |
| 同 3 人目 | 独立行政法人地域医療機能推進機構 清水さくら病院 院長 森 典子 様 |
| 同 4 人目 | 環境省 関東地方環境事務所 所長 神谷 洋一 様 |
| 同 5 人目 | ENEOS 株式会社 代表取締役 副社長執行役員 井上 啓太郎 |
| 同 6 人目 | ENEOS Power 株式会社 代表取締役社長 香月 有佐 |
| 同 7 人目 | 静岡県知事 鈴木 康友 様 |
| 同 8 人目 | 静岡市長 難波 喬司 様 |
| 同 9 人目 | 鈴与株式会社 代表取締役会長 鈴木 与平 様 |
| 同 10 人目 | 静岡鉄道株式会社 専務取締役 三浦 孝文 様 |
| 同 11 人目 | 静岡市清水文化会館マリナート 館長 望月 康隆 様 |
| 同 12 人目 | 日本工営エネルギーソリューションズ株式会社 代表取締役社長 横田 裕史 様 |

(式典ご参加)

- | | |
|-------|-----------------------------|
| 衆議院議員 | 上川 陽子 先生 (代理出席: 秘書 林 政彦 様) |
| 衆議院議員 | 深澤 陽一 先生 (代理出席: 秘書 遠藤 敏郎 様) |

<充填セレモニーの様子>



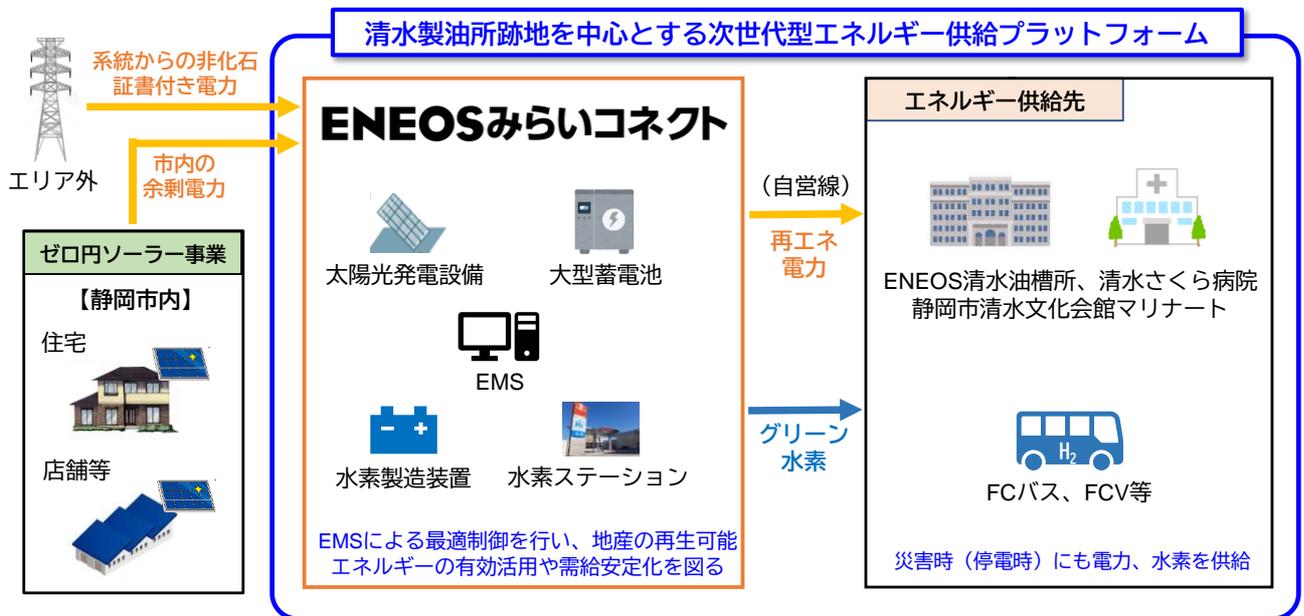
(左写真: ㈱ドリームプラザ 所有FCバス) (右写真: しずてつジャストライン(株) 所有FCバス)

- | | | |
|-------|----------|---------------------------------|
| 左・右写真 | 左から 1 人目 | 静岡市長 難波 喬司 様 |
| 左写真 | 左から 2 人目 | 鈴与株式会社 代表取締役会長 鈴木 与平 様 |
| 左写真 | 同 3 人目 | 株式会社ドリームプラザ 代表取締役社長 大井 一郎 様 |
| 右写真 | 左から 2 人目 | 静岡鉄道株式会社 専務取締役 三浦 孝文 様 |
| 右写真 | 同 3 人目 | しずてつジャストライン株式会社 代表取締役社長 田中 尚弘 様 |
| 左・右写真 | 同 4 人目 | ENEOS 株式会社 代表取締役 副社長執行役員 井上 啓太郎 |

【ENEOS みらいコネクト 事業概要】

本事業は太陽光発電設備、大型蓄電池、エネルギーマネジメントシステム（以下、「EMS」）、周辺施設への自営線、水電解型水素ステーション等で構成されています。自営線により送電された電力は、水素ステーションに設置された水電解型水素製造装置におけるグリーン水素製造にも活用されるとともに、EMSにより大型蓄電池・水電解水素製造装置等の各設備を最適に制御することで、エネルギーの安定供給および再生可能エネルギー由来電力と水素の地産地消を図ります。

<事業イメージ>



<設備概要>

所在地	ENEOS 清水製油所跡地（清水油槽所内遊休地）
エリア敷地面積	約 46,000m ² （水素ステーション敷地も含む）
主要導入設備	太陽光発電設備 3,000kW 大型蓄電池 7,700kWh 自営線（地下埋設）、EMS 水電解型水素ステーション 水素製造能力 100Nm ³ /h

<特徴>

再エネ地産地消	・太陽光発電設備で発電した電力を、自営線を介して周辺施設、水素ステーション内の水電解装置（水素製造装置）へ供給。
エネルギーの最適制御	・大型蓄電池の充放電、水素製造装置の稼働管理などを組み合わせてEMSによる最適制御を行い、地産の再生可能エネルギーの有効活用や需給安定化を図る。EMSによる制御で得られた知見を今後の電気事業に活用していく。 ・静岡市の脱炭素先行地域の取り組みとして、市域の太陽光発電の余剰電力を活用したエネルギーの地産地消を推進。
モビリティサービス	・水素ステーションにおいて、再生可能エネルギー由来のグリーン水素をFCV、FCバス等へ供給。 ・再エネ利用促進エリアにおける新たなモビリティサービスの展開を今後検討。
レジリエンス	・災害時（停電時）に、太陽光発電設備、大型蓄電池、水素製造装置を活用して電力、水素を供給し、地域の防災、減災に貢献。

【本件に関するお問い合わせ先】

ENEOS 株式会社 広報部 メディアリレーショングループ TEL：03-6257-7150

以上